

**調査期間** 2015年4月1日～継続中  
**所在地** 伊勢原市上粕屋  
**時代** 近世、中世、奈良・平安、縄文  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 市内北西部 小田急小田原線伊勢  
原駅から北へ約3kmに位置する。



### 主な調査成果

近世、奈良・平安時代、中世、近世の遺構と遺物が見つっています。今年度の調査地点は、平成22(2010)～23(2011)年度に調査を実施した箇所が残地部分となります。

近世では、畑作に伴う畝状遺構やイモ穴と思われる土坑が見つっています。奈良・平安時代では、円形土坑が見つっています。円形土坑は、畑作に関連する遺構と考えられており、近世、奈良・平安時代ともに耕作地として利用されていたことが判りました。

縄文時代では、土坑、ピットが見つかりました。見つかった土坑の内1基は、落とし穴でした。落とし穴は、円形を呈し、底面に数基のピットが穿たれていました。遺物は、主として中期の土器が出土しています。



6区残地 J4 土坑完掘



7区残地③ H8 土坑完掘



7区残地③ 作業風景



8区残地 近世面全景